北里大学病院RSTの取り組み

北里大学病院　RST/RRT室

集中ケア認定看護師

森安恵実

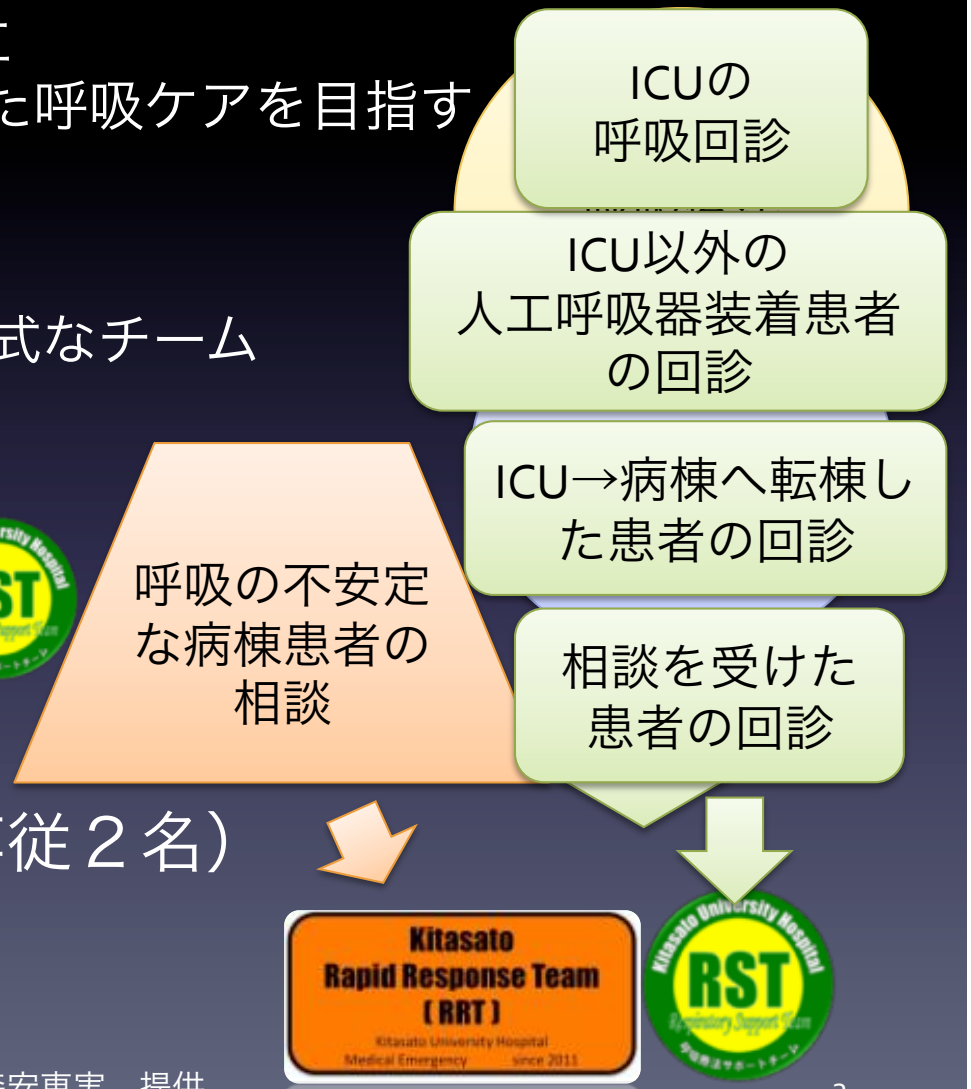
当院RSTの歴史

2002― ICUの呼吸ケアチーム設立
主治医制 ICUでの統一した呼吸ケアを目指す

2006― 医療安全ワーキング　正式なチーム
（呼吸療法ワーキング）

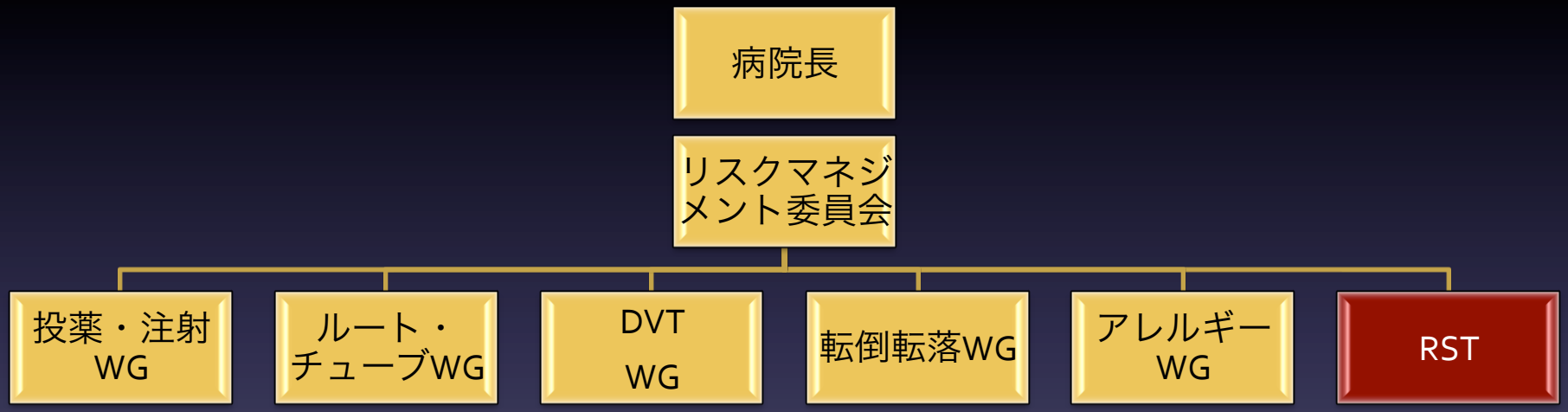
2008― 名称をRSTへ変更

2011― RST・RRT室独立（専従２名）



北里大学病院　森安恵実　提供

病院の中におけるRSTの位置（概念図）
ワーキンググループ（平成18年７月発足）



北里大学病院　森安恵実　提供

RST業務内容

- 回診および呼吸ケア

（毎日：ICU＋病棟＝20～30名）

- 講習会（1回/週）
- 拡大会議（1回/月）：病棟リンクメンバー招集
- リスクマネジメント委員会へ報告（1回/月）
- コア会議・インシデント分析と対策など

（1回/月）

RSTコアメンバー：コア会議構成員 計１４名

- RST/RRT室　室長（麻酔科医師）
- RST/RRT室　専従（集中ケア認定看護師・理学療法士）
- 医師（救急医、麻酔科、小児科、呼吸器内科、耳鼻科）
- 看護師（小児系、一般病棟、教育部）
- 臨床工学技士
- （コア会議：医療安全管理室看護師陪席）

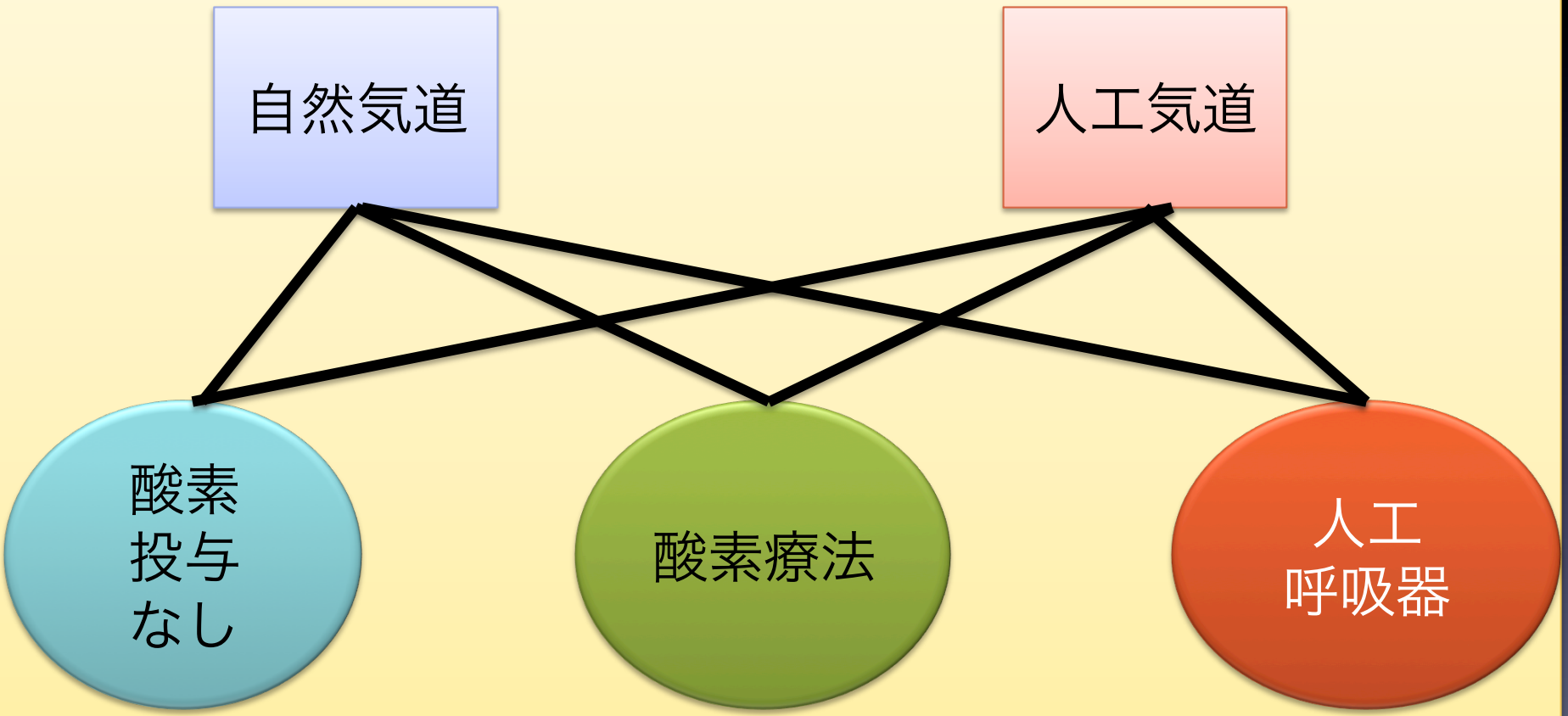
北里大学病院　森安恵実　提供

当院RSTの取り組み

活動状況と変化

北里大学病院　森安恵実　提供

RSTの守備範囲（患者様の状態）



当院RSTの柱

- 院内のインシデント分析と対策
- 安全な呼吸療法

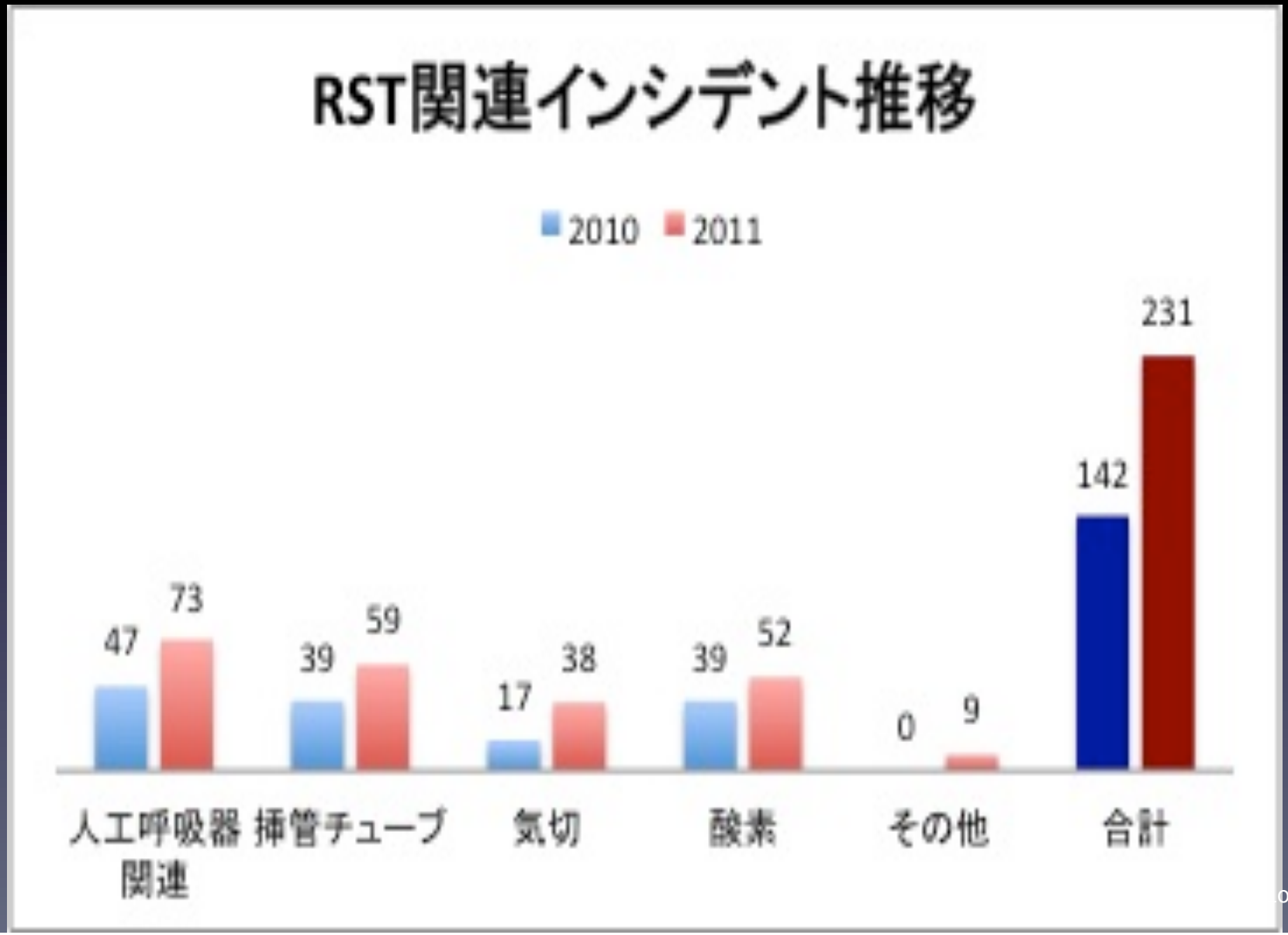
インシデントの分析と対策

コアメンバー会議１回／月

- 院内の現状を知る
- 物品の統一
- マニュアル作成
- 院内への周知活動

北里大学病院　森安恵実　提供

詳細は全て毎月分析


RST関連インシデント推移
2010
2011
47
73
39
59
17
38
39
52
0
9
142
231
人工呼吸器関連
挿管チューブ
気切
酸素
その他
合計

安全な呼吸療法を目ざす活動と教育

	頻度	教育方法
研修会	毎週１時間	Off-JT
ラウンド	毎日	OJT
相談業務	連絡を受けた時	OJT

北里大学病院　森安恵実　提供

研修

毎週火曜日

誰でも受講可能

他病院もOK

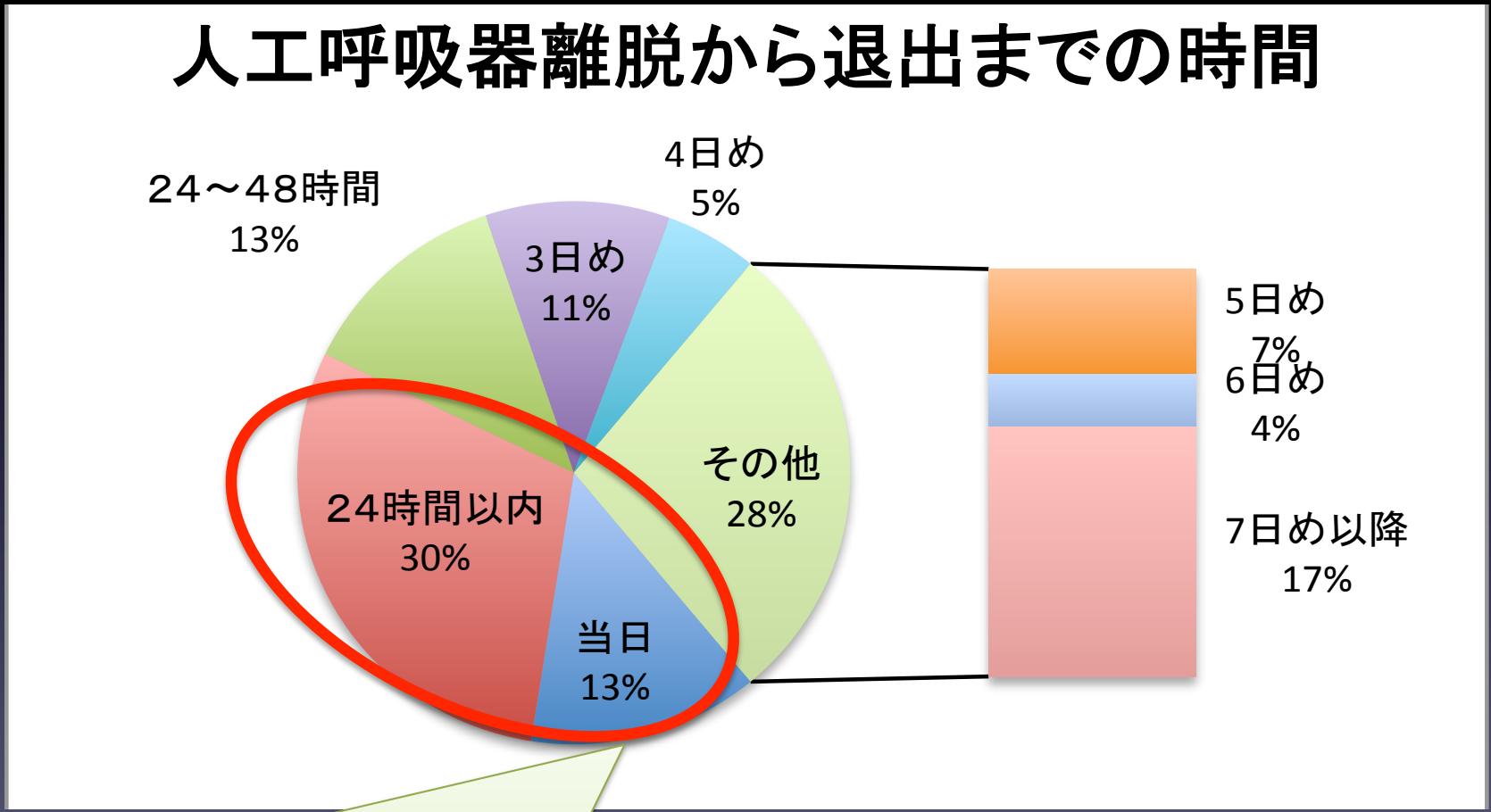
北里大学病院　森安恵実　提供

ラウンドの対象

- ICU/EICUの全患者
- ICUから退出した不安定な患者
- 病棟で人工呼吸が開始された患者
- 病棟医師や看護師から相談を受けた患者
- その他

北里大学病院　森安恵実　提供

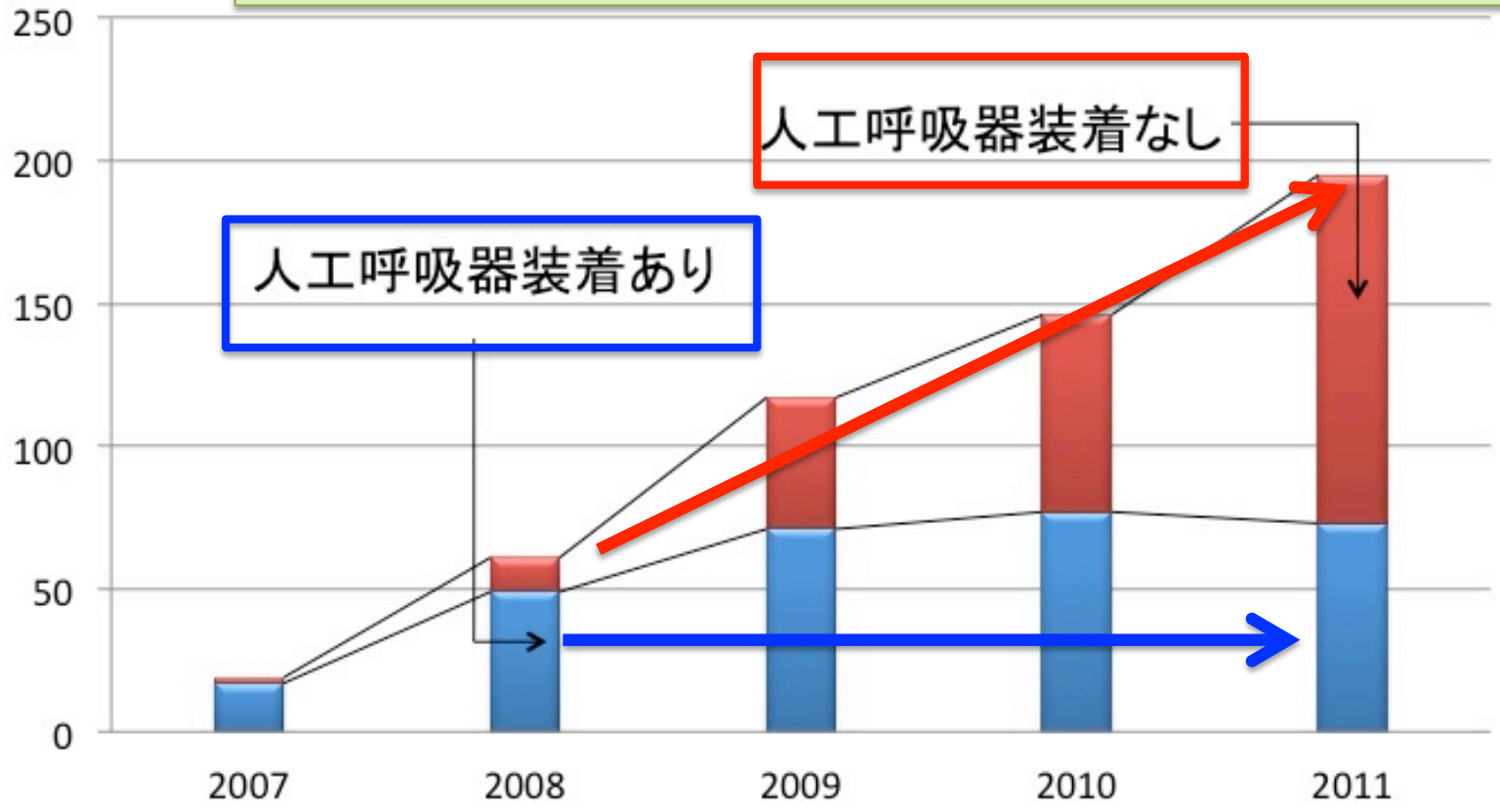
ICUから病棟へ移動した一部の患者もラウンドの対象



4割が２４時間以内に退出しているので、
不安定なまま退出した患者はラウンドに行く

北里大学病院　森安恵実　提供

院内ラウンド患者の内訳と推移

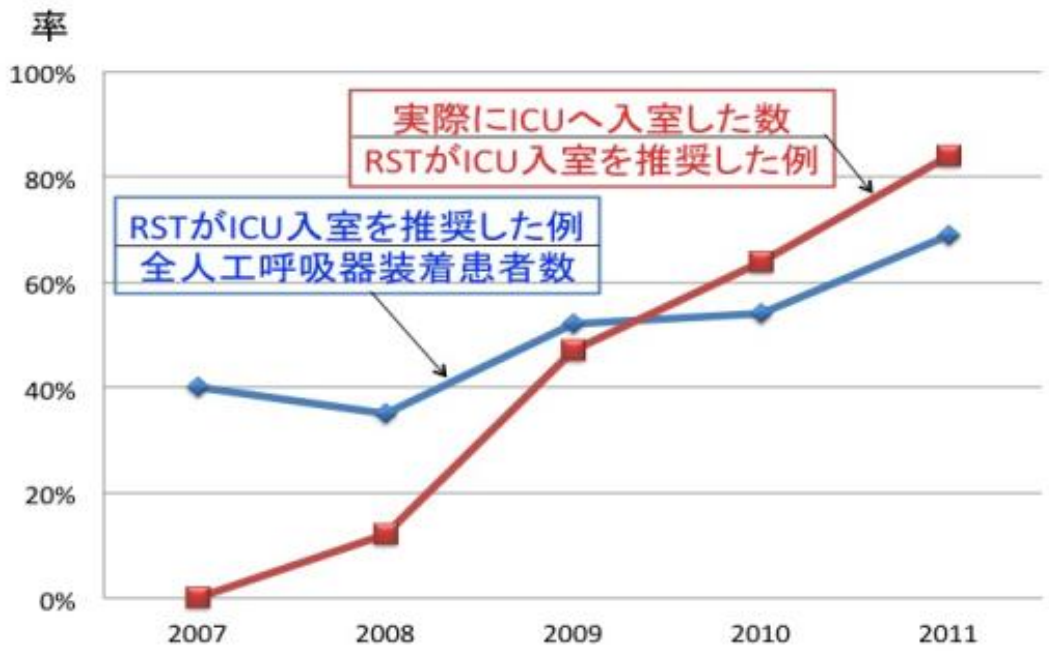


人工呼吸器が装着されていない患者の
ラウンド数が増加している

北里大学病院　森安恵実　提供

病棟で挿管・人工呼吸器が装着されたら ICU使用を推奨する

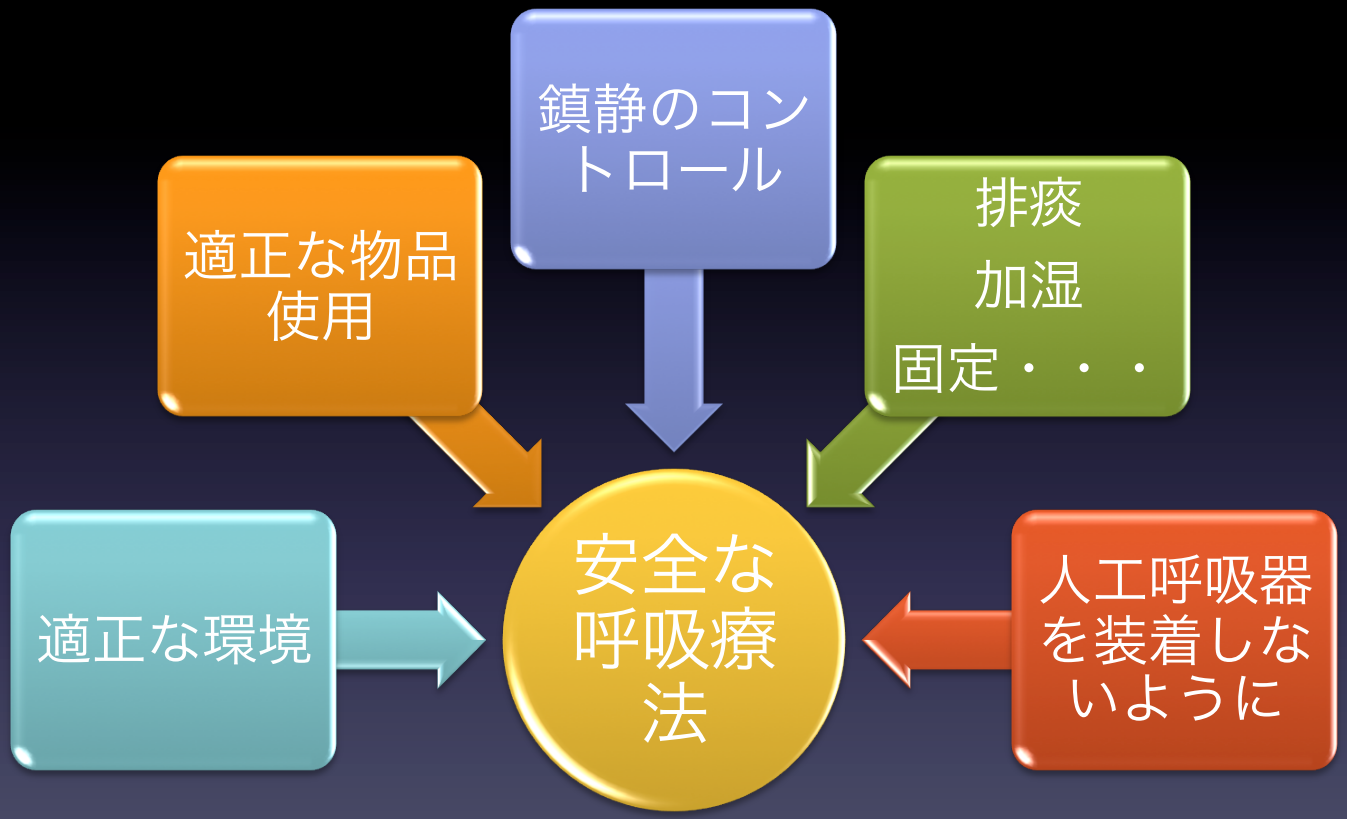
RSTの推奨を受け入れてくれた率は増加傾向



- 全人工呼吸器装着患者のうち、RSTがICU入室を推奨した症例の割合は増加
- ICU入室を推奨した症例のうち、実際にICUへ入室した例の割合も増加

北里大学病院　森安恵実　提供

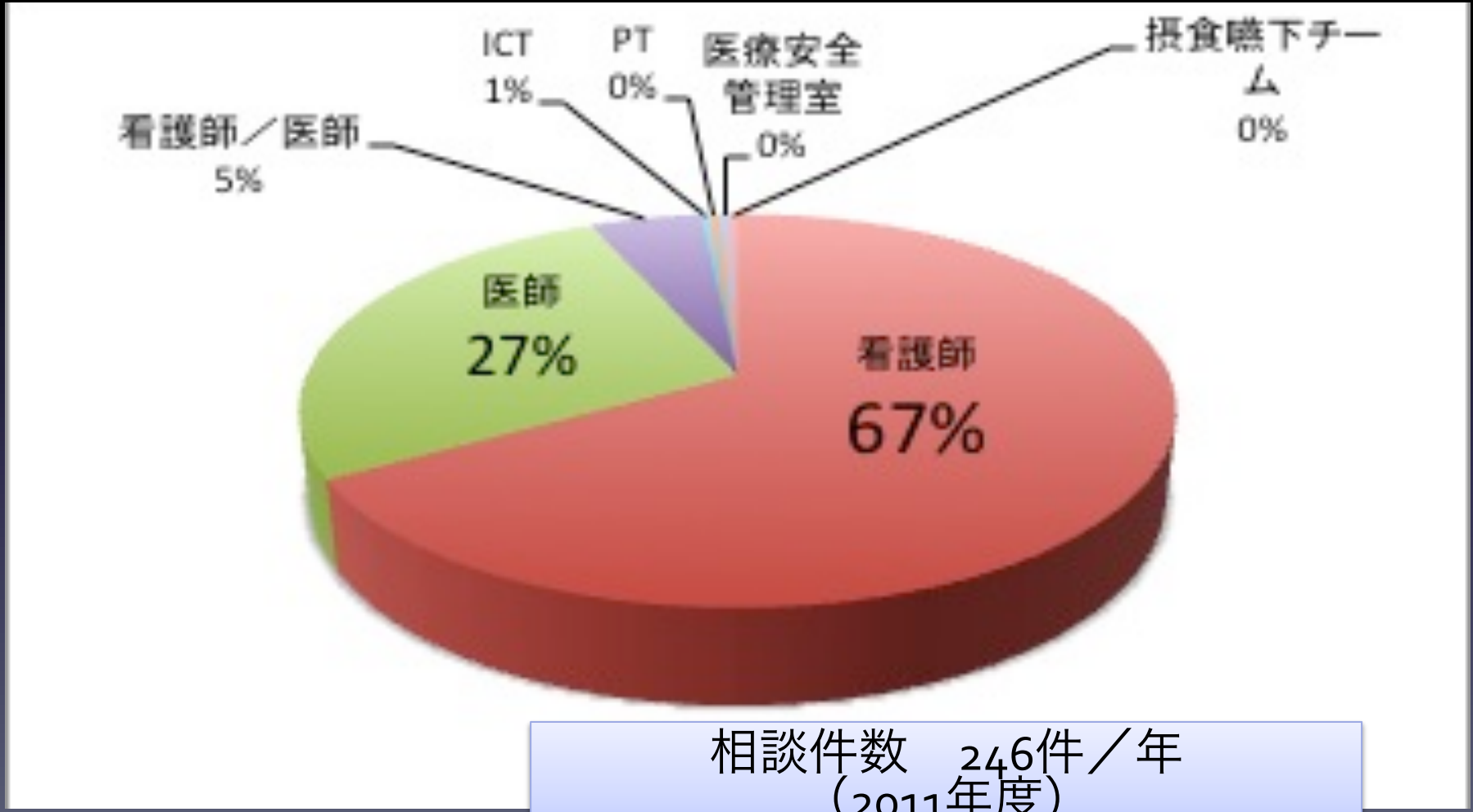
ラウンドで何をするか



決して人工呼吸器を見に行く訳ではない
（むしろその他の事を見に行く）

北里大学病院　森安恵実　提供

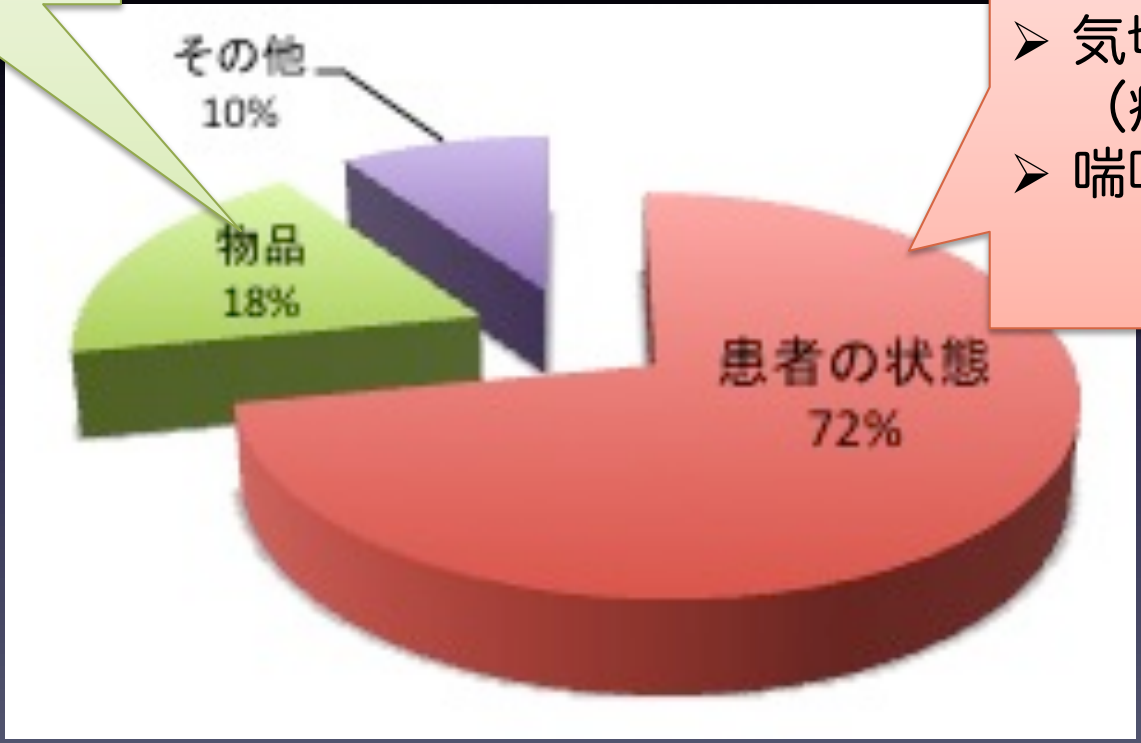
RSTへの相談



相談件数　246件／年
（2011年度）

相談内容

- 人工呼吸器
- カフ圧計
- 酸素療法器具



- 呼吸状態が悪い
- 痰が取れない
- 気切チューブの管理（痰による閉塞）
- 喘鳴

相談件数　246件／年
（2011年度）

北里大学病院　森安恵実　提供

変化

患者の側で
気づくことが増え、
相談する相手がいれば、
安全に近づく！？

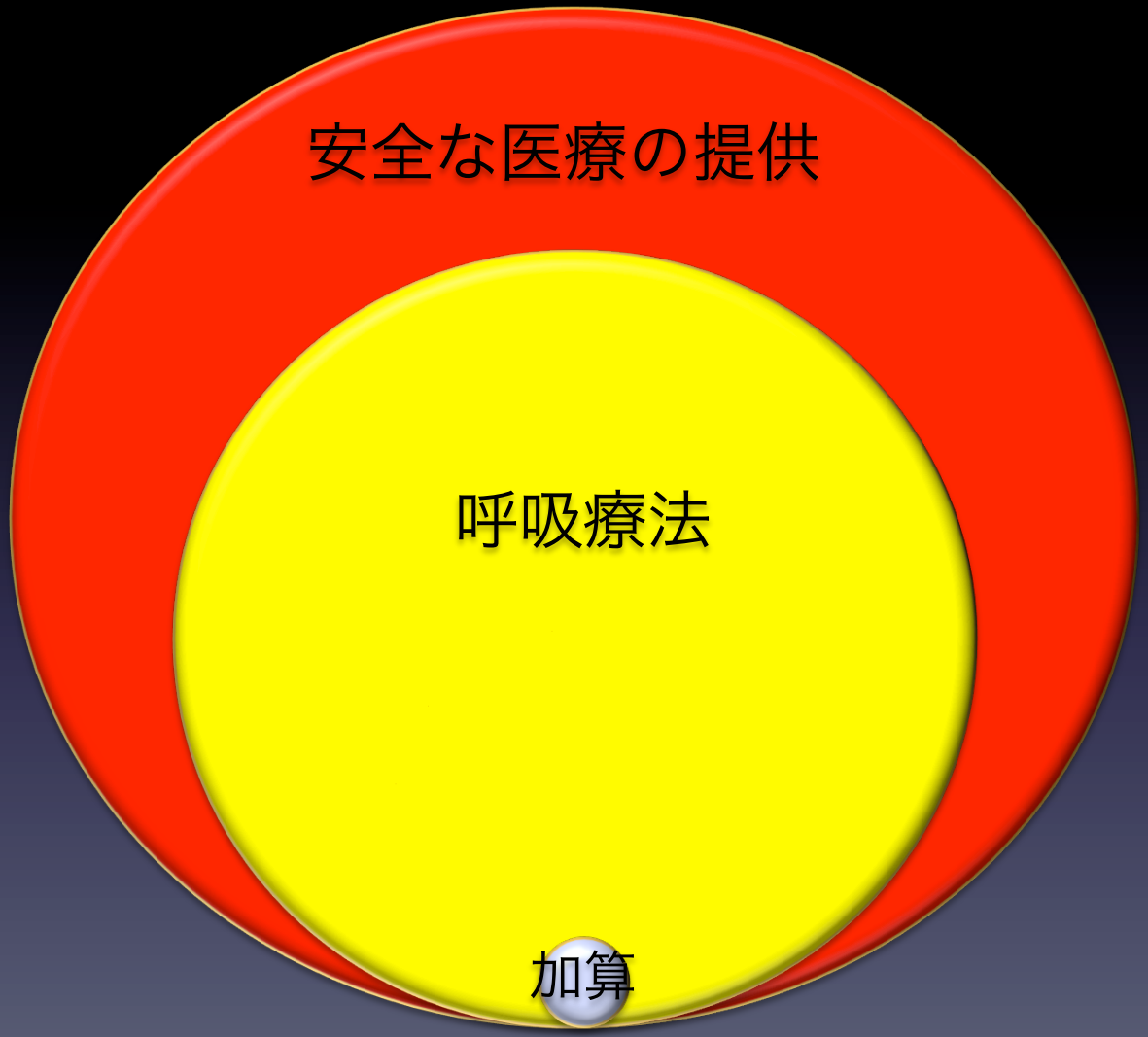
相談業務
（相手が気づき、
連絡を受ける）

ラウンド（こちらから患者を選定して出向く）

研修（基礎知識を得る）

これがベース

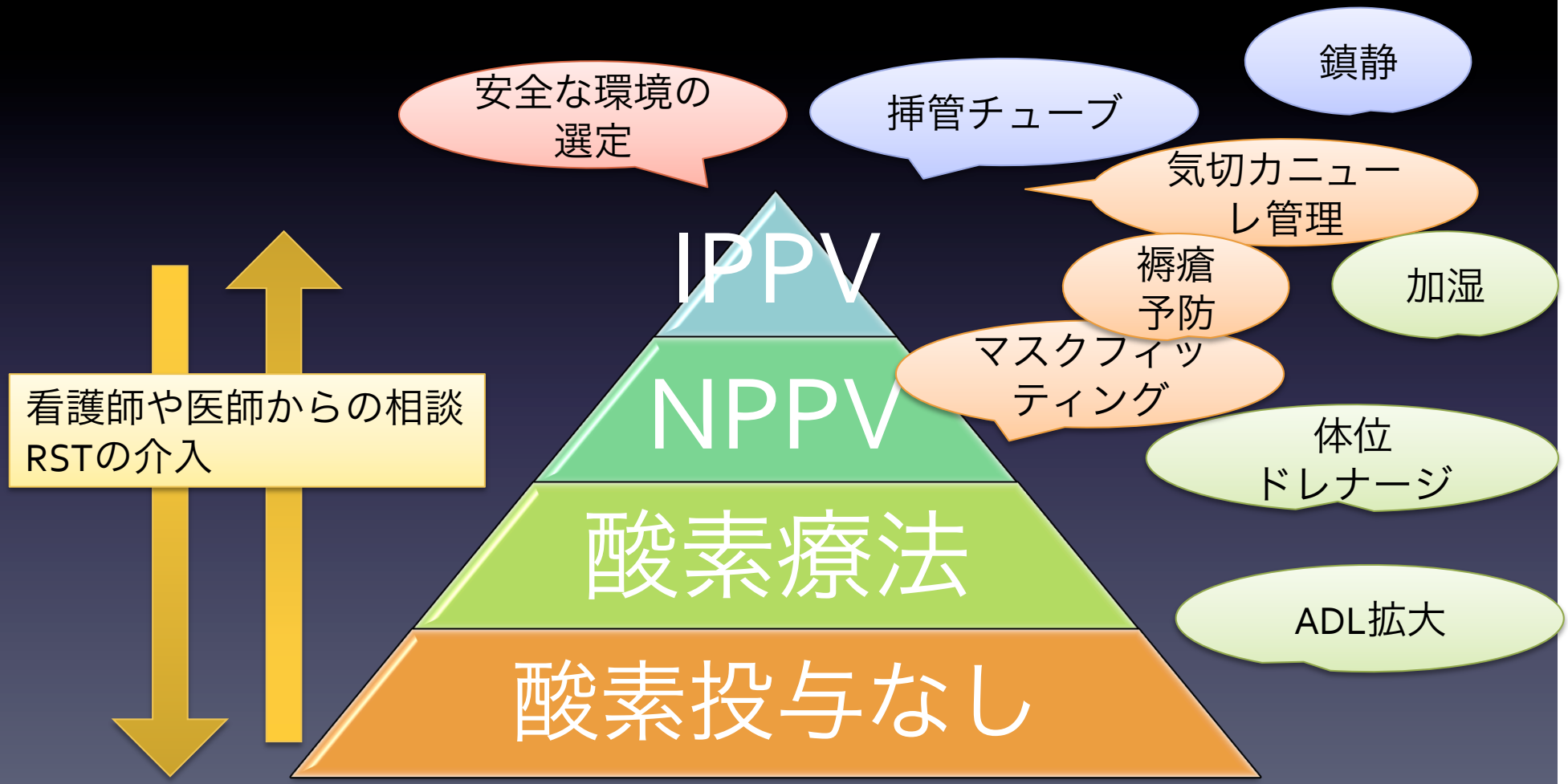
当院RSTの活動の目的



北里大学病院　森安恵実　提供

安全で効果的な呼吸療法が目標

どんな状態であっても困っていれば対象となる
これが当院が目ざす『呼吸療法のサポートチーム』



相談しやすいRST となることが安全を生むと信じている

- 顔の見える関係づくり
- 相談しやすい空気の維持
- 呼吸療法の程度や内容は関係ない
- 次の相談がくるかは、
  今の相談の対応で決まる。

挑戦・進化のプロセス

北里大学病院　森安恵実　提供